

# 浦添JC

[沖縄]

## JCIで得た経験を忘れず 現役のよき応援団であり続ける

### 浦添

JCIは、沖縄が祖国復帰を半年後に控えた1971年11月12日にNOM時代最後のLOMとして誕生しました。30数名のメンバーで発足以来、地域に根ざした活動を展開してきました。活動エリアである浦添市は県都・那覇市に隣接する地理的条件から近年は商業都市として発展し

ていますが、古琉球時代には王都として繁栄し、別名「てだこの街」と呼ばれています。「てだこ」とは沖縄の方言で「太陽の子」を意味し、南国の太陽が万物に潤いと希望を与え、そのの喩えだといわれ、多くの歴史的遺産とともに穏やかでのびのびとした文化都市を形成しています。浦添JCIシニア会は、「友情の絆を

大切に、明るく、楽しく集うこと」を目的に設立され、会員は浦添JCI卒業者が年会費を支払い任意で入会することが出来ます。役員は毎年持ち回りとなっており、現役を卒業した全員を幹事とし、その、ひとまわり上がシニア会会長、世話人を担い1年間の事業を開催しております。1月総会、12月の納会が現役諸君と同日に設営し、懇親会を合同開催して



現役・OB合同懇親会にてあいさつされる仲里シニア会会長



初代理事長新門先輩のあいさつ



35周年記念祝賀会にて

相互の交流と情報交換、親睦を図る試みも昨年から始め、好評をいただいております。シニア会としてのスタンスは現役の活動に口を出さないうという後方支援ですが、さまざま活動を通して、現役を離れて思う

ことを同じ志をもったOBとして伝えていかなければと考えています。

2009年那覇JCIさんの主管で開催される日本JCI第58回全国会員大会に向け、沖縄地区内全LOMが一丸となって成功へ向け準備を進めています。現役のみならず、我々シニアクラブメンバーも、より一層結束して現役メンバーを応援していきたいと思えます。全国より多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

JCIで得た多くの喜びや感謝を忘れず、OBとして現役の良き応援団・シニア会であり続けたいと思えます。

日本JCIシニア・クラブ

沖縄ブロック担当幹事 新城 毅



35周年記念式典



現役シニア合同懇親会にて